



- 警告灯と水温警報が点灯し、水温表示が点滅表示したまま、走行を続けるとエンジン故障の原因となります。

[水温計]
エンジン冷却水の温度を表示します。
水温は、35 °Cから表示が始まり 132 °Cまで表示します。（34 °C以下は表示しません。）
エンジン回転中は、水温表示が 121 °C以下になつているのが正常です。
水温表示が 122 °C以上になり点滅した場合、オーバーヒートのおそれがあります。29 ページを参照してください。

エンジン冷却水の温度を表示します。
水温は、35 °Cから表示が始まり 132 °Cまで表示します。（34 °C以下は表示しません。）
エンジン回転中は、水温表示が 121 °C以下になつているのが正常です。
水温表示が 122 °C以上になり点滅した場合、オーバーヒートのおそれがあります。29 ページを参照してください。



知識

- 水温が100°C以上になる場合がありますが、沸騰温度をラジエータキャップにより高めてあるためで異常ではありません。
- 高温下での長時間にわたるアイドリングにより、警告灯と水温警報が点灯し、水温表示が点滅する場合があります。この場合は、走行してエンジンを冷やすか、エンジンが冷えるまで停止してください。

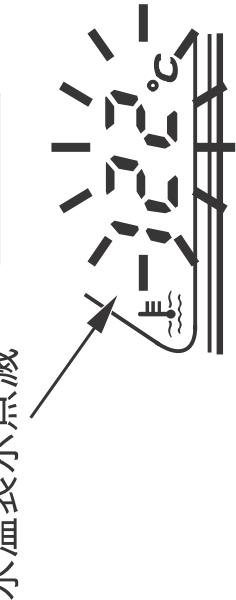
正常時



水温
34°Cまで

水温
35°C~121°C

異常時



水温 122°C~132°C
(132°C以上は、132°C表示)